

令和4年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

- 総会の開催（令和4年4月26日）
- 10人委員会の開催（5回開催）
- 各分科会の開催
エネルギー（5回開催） エコライフ（3回開催） 資源活用（2回開催）
自然環境（3回開催）

2. 主要事業

① 全体



- 機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（2回）

目的 フォーラムのアピールと会員内の情報共有
仕様 三つ折り6ページ A4版
部数 1,700部（49号）
1,700部（50号）
配布先 フォーラム会員、関係団体、公共機関

- エコな～らライフ宣言（CO2ダイエット事業）

家庭での省エネ行動を促進するため、その実践宣言をホームページ等で募集、一定の宣言量に応じた植樹により削減したCO2を見える化し、温暖化防止にかかる県民意識の高揚を図る。令和4年度は、令和5年3月6日の施設見学会のなかで、フォーラム会員に向け、意識醸成・普及啓発を行った。

- カーボンニュートラル実現に向けた普及啓発活動の推進

カーボンニュートラル・温暖化防止に向け、県民一人ひとりが実践できる身近な取組について、広告媒体を活用した情報発信・普及啓発を行った。

② エネルギー分科会



●植樹バスツアーの開催（植樹バスツアーは中止 → 企画を施設見学会に変更し実施）

環境保全について考えてもらうきっかけとしていただくため、エコな～らライフ宣言者を対象に秋に植樹バスツアーを開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止した。

新型コロナウイルスの感染拡大状況が比較的落ち着いた年度末に、奈良県環境県民フォーラム関係者を対象とした廃棄物処理・リサイクル施設見学会を開催した。現地までの往復のバス車内で「エコな～らライフ宣言」の啓発活動を実施した。

日程 令和5年3月6日（月）

行先 大栄環境グループ 三重中央開発株式会社 三重リサイクルセンター

内容 管理型最終処分場、メタン発酵によるバイオガス発電施設等の見学

参加人数 22名（奈良県環境県民フォーラム関係者）

●エコクッキング教室の開催

省エネルギーについて考えてもらうきっかけとしていただくため、鍋帽子を活用したエコクッキング教室を開催した。実習前の環境講座では食品ロスを取り上げ意見交換を実施し、試食後にはすぐにできる環境にやさしい暮らしについての意見交換を実施した。

受講者アンケートでの満足度も非常に高く、「節約・エコ・CO2削減につながり、素材のおいしさも引き出してくれ、良いことづくしだなあと感動しました」という声を頂いた。

日程 令和5年2月8日（水）

場所 南コミュニティーセンターせせらぎ（生駒市）

内容 保温調理器具である鍋帽子を使った調理（パエリア・大豆スープ・オレンジカスタード等、4品）

参加人数 7名

●エネルギー講座の開催

環境にやさしいエコライフの提案及び情報提供等を通じて、温暖化問題への意識啓発をはかり、省エネルギーについて考えるきっかけとしていただくため、県民を対象としたエネルギー講座を開催した。当日は、地球温暖化の現状と対策の重要性、光熱費の削減につながる工夫、WEBサービス活用等についてクイズを交えながらご講演いただいた。

日程 令和5年3月15日（水）

場所 奈良県文化会館

内容 有限会社ひのでやエコライフ研究所 代表取締役 鈴木靖文氏による講演（テーマ：「脱炭素でみんな豊かになる方法」）

参加人数 23名

③ エコライフ分科会



●河川浄化への啓発

令和3年度の「大和川水質マップ」で見ると10年前に比べてBOD値の年平均値が改善され5mg/lの環境基準を下回っている。これは、下水道の敷設地域の拡大と単独浄化槽から合併浄化槽への転換が進んでいて家庭排水がきれいになった事が原因である。大和川の一部支川では環境基準を超えているところもありその一つである三代川（流域自治体：斑鳩町）での水質検査を、令和4年12月1日に県職員の方々の協力も得ながら実施した。水質検査はCOD、アンモニア、界面活性剤の3種類である。測定時間は、昼ご飯が終わり台所や洗濯などの排水が多くなると予想される午後1時と2時の2回、測定点は三代川とその支流の服部川、イツボ川から9地点を選定。今後、下水道や合併浄化槽の設置状況のデータ等との関連を分析し、最終的に斑鳩町や大和川重点対策支川部会（大和郡山、斑鳩、安堵エリア）へ情報提供を図っていく。

●地域が育む川づくり（中止）

県内の河川の水質改善や、水質保全の活動を行っている各種団体との交流の機会を作ることを計画していたが、今年度は具体的な活動が出来なかった。

●環境学習会

小学校への環境学習として、「浄化槽の働き」をテーマに過去にも実施してきましたが、今回は橿原市立鴨公小学校の「4年生」を対象に令和4年9月16日に実施しました。

実施に当たり、「奈良県清掃事業有志会の会員である橿原市の許可業者様」にバキューム車の説明や、浄化槽メーカーの方にクイズを交えた浄化槽の働きや管理の大切さなどを講義していただいた。

●エコ見学会の実施（中止）

河川の自然浄化設備（例：大和川上流浄化施設（所在地：奈良県磯城郡川西町吐田地先））等の見学等を計画していたが実施できなかった。大和川上流浄化施設「薄層流浄化施設で河床に接触材となる礫（石）を敷き並べ水を広く薄く流し、河川水が河床の接触材に触れて流れるときの水流の乱れや、上流部からの落差によって酸素を供給し、礫の表面にすむ微生物が汚濁物質を吸着・分解する浄化方法であり、大和川上流浄化施設は平成11年度に完成した。

④ 資源活用分科会



●環境にやさしいお買い物キャンペーンの実施

3R推進月間及び食品ロス削減月間である10月に実施。本年度のキャンペーンとして食品ロスにつながる「手前どり」に関するアンケートを行い、食品ロスに対する意識調査を行った。

日程：令和4年10月13日（木） 10時から11時30分

場所：ならファミリー2階 連絡通路 北入口前

●エコ見学会の実施（2回実施）

- 第1回 日程：令和4年9月14日（水）
場所：おおさかATC グリーンエコプラザ
（環境問題全般及び環境ビジネスの最新技術など企業の取組）
- 第2回 エネルギー分科会合同
日程：令和5年3月6日（月）
場所：大栄環境グループ 三重中央開発株式会社 三重リサイクルセンター
（廃棄物処理と廃棄物のエネルギー化施設）

●学習会

「食品ロスとフードバンクについて」

講師：特別非営利活動法人フードバンク奈良 清水順子監事

日程：令和4年7月6日

場所：コープふれあいセンター六条

●他の関連機関との連携

- ・奈良市地球温暖化対策協議会と協働について、人的交流及び情報交換の実施



⑤ 自然環境分科会

●自然環境セミナー

自然体験活動や自然環境教育に興味を持つ人を対象として、自然のすばらしさを学習するセミナーを開催した。

- ・「綿摘み体験」（山の辺の道ファンクラブ）（中止）
日 程 令和4年10月
内 容 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となった。
- ・「レモンガラスリースづくり体験」（さくらい菜の花プロジェクト）
日 程 令和4年11月27日
内 容 自ら刈り取ったレモンガラスを材料とした、香りの良いリースづくりを体験してもらった。
- ・「追分観梅会」（奈良追分コミュニティ）
日 程 令和5年2月25日～3月12日
内 容 見頃を迎えた追分梅林を觀賞してもらうとともに、美しい空気と香りと眺望を体験してもらった。

●自然体験教室

体験による学びを通して、県民の自然環境保全の意識醸成を図るため、分科会各メンバー主催の体験イベントを「自然体験教室」として位置付けて実施した。

第1回 「梅狩り」（追分コミュニティ主催）

日 程 令和4年6月3日～5日

内 容 梅摘み体験を通して、自然からの恵みを実感してもらうとともに、追分梅林の豊かな自然環境を体験してもらった。

第2回 「菜の花移植、いもほり体験」（宙塾主催）

日 程 令和4年11月6日
内 容 参加者の自然環境に対する意識醸成とコミュニケーションの活性化を図るため、菜の花の移植及びいもほり体験を行った。

第3回 「橘収穫祭」(なら橘プロジェクト推進協議会)

日 程 令和4年12月11日
内 容 大和橘の収穫体験を実施するほか、城会長が大和橘と関わることとなったいさつや各方面への商品開発など多様に展開してきた経緯など講演を行った。

第4回 「七草粥の会」(NACS-J 自然観察指導員奈良連絡会)

日 程 令和5年1月22日
内 容 七草摘み体験を通して季節の植物の特徴を学ぶとともに、七草粥づくりとその試食を通じて、自然の豊かな恵みを実感してもらった。

○菜の花プロジェクトの推進

- ・菜の花 WEEK の開催

日 程 令和4年4月9日～4月24日の土日に開催

内 容 菜の花の鑑賞会、自然体験

- ・菜の花・橘だよりの編集(年2回 フォーラムだよりの中で記事掲載)